

～ CSR（企業の社会的責任）に取り組む皆様へ～
**大阪で生物多様性についての
取り組みをはじめてみませんか**

このガイドブックは大阪府等の主な施策や
企業の取り組み事例等を紹介しています

生物多様性とは？

私たちの生活や企業の事業活動は、直接的もしくは間接的に生物多様性から恩恵を受け、そして影響を与えています。近年、人間が永らく共生してきた生物多様性が危機に瀕していると言われています。

生物多様性とは“様々な生きものが持つ個性やつながり”のことで、私たち人間を含む全ての生きものは、つながりあって共に生きています。



生物多様性を構成する3つの多様性

- 生態系の多様性
山や川など多様な自然環境がある
- 種の多様性
多様な種類の生きものがいる
- 遺伝子の多様性
同じ種類の中にも多様な個性がある

私たちの生活や事業活動は、生物多様性からの恵みによって支えられています。



生物多様性からの恵み（生態系サービス）

- 供給サービス
農産物・水産物などの食料、木材、医薬品原料
- 文化的サービス
文化（和食文化など）やレクリエーション
- 調整サービス
気候の調節や水の浄化、森林による土砂崩れの抑止
- 基盤的サービス
酸素供給や土壌形成、栄養塩の循環

なくてはならない生物多様性が危機に直面しており、生物多様性が崩壊すれば、生態系サービスも消失します。



生物多様性の4つの危機

- 開発など人間活動の増加による危機
開発による環境破壊、汚濁排水、乱獲
- 自然に対する働きかけの縮小による危機
二次林や耕作地の放棄などによる里地里山環境の劣化
- 人間により持ち込まれたものによる危機
外来種による在来種の捕食、化学物質による攪乱
- 地球環境の変化による危機
温暖化など急激な気候変動による影響

人口 880 万人の大都市大阪にも守るべき生物多様性があります

大阪の代表的な自然環境は、人間の生活の場のすぐ隣にあります。身近な場所であると同時に、開発など人間活動の影響を受けやすい場所とも言えます。多様な自然環境には数多くの生きものが生息しています。



都心のそばにある淀川汽水域（大阪市）



ゼフィルス^{*1}のすむ三草山（能勢町）



長谷の棚田（能勢町）



イタセンバラ^{*2}のすむ淀川のワンド（大阪市）



安威川の渓流域（茨木市）



男里川の河口干潟（泉南市・阪南市）



ミナメダカ^{*3}のすむ里山のため池（交野市）



小島の自然海岸（岬町）



ブナ林の残る和泉葛城山（岸和田市・貝塚市）



信太山の湿地（和泉市）

これらの自然環境は、宅地化や埋立などの人間による環境改変を免れて残っています。しかし、今もなお開発や外来種による圧力を受け続けています。さらに里地里山では、人間の手入れが無くなったことによる生物多様性の荒廃が進行しています。

* 1：ゼフィルスとは、三草山が日本の分布東限にあたるヒロオビミドリシジミを含む、ミドリシジミ類の蝶の愛称です。

* 2：イタセンバラは、淀川と富山平野、濃尾平野の限られた場所にのみ生息する国の天然記念物の淡水魚です。

* 3：日本のメダカはキタノメダカとミナメダカに分類されます。大阪にはミナメダカが生息していますが、生息地が減少しています。

全てのいのちが共生する社会を構築するために 企業による生物多様性保全の取り組みが必要とされています

企業は国内外で直接的もしくは、間接的に生物多様性の恵みを利用して事業を行っています。事業継続のためには、生物多様性と対峙するのではなく、共生し持続可能な利用を行うことが重要です。

全てのいのちが共生する社会を構築するために、企業の取り組みが必要とされています。

取り組みによる事業活動でのメリット*

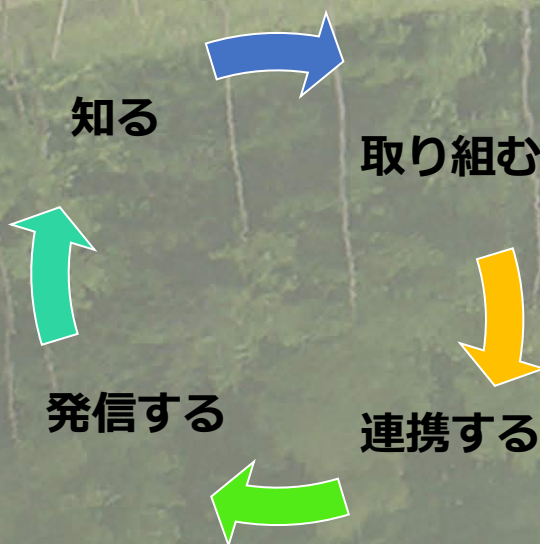
- ✓ 生物資源の長期的な確保と調達安定化
- ✓ 商品のブランド価値の向上と、新たな顧客の獲得
- ✓ 社会的責任投資等を重視する投資家へのアピール
- ✓ 新たな技術などの市場の創出
- ✓ 従業員の満足度向上、人材の確保

*:生物多様性参画ガイドライン(環境省,2009)

取り組みの流れ

生物多様性保全に取り組むにあたって、まずは大阪全体や活動予定地域の生物多様性を知り、どのような活動に取り組むかを計画します。また取り組みには行政や専門家、地域との連携が求められています。

生物多様性の保全の取り組みを知ってもらうためには、定期的な情報発信が有効です。



大阪 21 世紀の新環境総合計画 (2011 年)

民間事業者による生物多様性の取り組みを促進

生物多様性国家戦略 2010-2020 (2012 年)

行政、事業者、専門家による「連携と協働」の仕組み、科学的知見を共有した活動が必要

大阪の生物多様性について知る

取り組みの第一歩は、大阪の生物多様性について知ることから

○シンポジウム等への参加、社内研修会の実施

大阪の生物多様性について知り、取り組むべき対象と目標を定めます。関連するシンポジウム等へ参加することで、最新の情報を収集できます。

また地域での活動をスムーズに始めるため、府や市町村へ相談すると必要な情報や専門家の紹介を受けられます。

さらに、社内の共通認識として活動するために、社内で研修会等を実施するとより効果的です。

○企業研修会への講師派遣

- ・地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所
水生生物センター
- ・公益財団法人大阪みどりのトラスト協会など



社有地を活用して取り組む

敷地内での活動は始めやすい活動の一つです

○ビオトープの設置、在来樹木による緑化

ビオトープを設置することで様々な生きものが集まり、都市部では生息地をつなぐネットワークとしても重要です。

また、敷地内の緑化に地域在来の樹木を用いることでも生物多様性の保全に貢献できます。



コマツ(株)大阪工場の「コマツ里山」は枚方市の里山から樹木を移植し、失われつつある自然環境を再現しています。

ビオトープへの生きものの導入について

同じ種類の生きものでも、地域(水系)によって遺伝的な差があるとされています。遺伝子の多様性を守るために、生きものを導入する際には、事前に専門家等へご相談されることをお勧めします。

社有地以外で取り組む

生物多様性の保全や二酸化炭素の吸収に役立つ森づくりに多くの企業が参画しています

✓ 共生の森づくり

大阪湾に浮かぶ産業廃棄物処分場・堺 7-3 区のうち、企業と府民、NPO、大阪府が連携して整備することが位置づけられた 100ha の区域を共生の森として整備を進めています。

- 企業の森（一定区画における独自の森づくり活動）
植樹、草刈りなどの管理、森づくりに必要な作業
- 府民イベントへの参加
植樹祭や草刈等
- 苗木・資材等の提供
- 資金提供（共生の森づくり基金）



✓ アドプトフォレスト

大阪府が、企業等と森林所有者の「仲人」となり、企業が荒廃した森林等を手入れし、森づくりを行う制度です。

放置された人工林や竹林など荒廃した森林を手入れし、生物多様性確保や地球温暖化防止に貢献します。

- 植樹
- 間伐や下草刈りなどの管理
- 地域との連携



生物多様性保全のために資金的な支援に取り組む

大阪の生物多様性保全を目的とした基金への寄付やNPOの支援ができます

✓ 生物多様性保全基金

府内における野生動植物の生育・生息環境の保全・再生・創出や、自然環境教育の推進、野生鳥獣の保護などに活用します。

- 生物多様性保全に関する普及冊子の作成・配布
- 府民協働で行うビオトープなどの保全活動
- 府民を対象とした自然観察イベント
- 小学生等を対象とした自然環境学習

地域で活動する団体等と連携する

多様な主体との連携が地域貢献の近道になります

✓ 公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会

和泉葛城山のブナ林や三草山ゼフィルスの森をはじめ、大阪府内に残された貴重な野生動物の生息、生育環境を保全するとともに、府民協働で市街地の緑化を推進しています。これらの取り組みは、企業や府民の方々の寄附や活動への参加によって運営されています。トラスト協会では、CSRに取り組む企業の皆様をサポートします。

○サポート内容

- 活動内容の企画立案
- 活動地の提供
- 活動地での指導
- 活動の自立化に向けたアドバイスなど



青緑色に輝くゼフィルス

✓ 淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク (イタセンネット)

「淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク (イタセンネット)」は、淀川流域で活動する市民団体や企業と研究機関、行政が連携することで、国の天然記念物イタセンパラと生息地の淀川の自然再生を目指す新しいネットワークです。

大阪市内で生物多様性保全に関する活動ができるとともに生物多様性や外来種問題について学ぶことができます。

○淀川城北ワンド (大阪市旭区) での定例活動

外来種駆除や自然観察会

○外来種駆除釣り大会

○河川清掃



国の天然記念物 イタセンパラ



淀川城北ワンドでの外来魚駆除活動

生物多様性について情報発信をする

事業活動や大阪での取り組みを活用した環境教育を実施することで情報発信できます

地域の小学校や従業員の家族などに向けて環境教育を行うことで、地域貢献や企業理解につながります。

自社サイトや CSR 報告書だけでなく、連携している行政や団体からの発信も期待できます

生物多様性の保全を通じた地域貢献をステークホルダーや府民に広く発信することで、生物多様性への理解や取り組みを府民に広げることができます。また連携している行政や団体からも情報発信されることで、企業イメージの向上も期待できます。

生物多様性の保全に関する CSR の取り組みを 大学や研究機関、行政が連携して支援します

おおさか生物多様性パートナー協定

生物多様性保全活動に取り組む企業を大阪府及び専門機関等が連携して支援するとともに、府が当該企業のPRや推奨を行うことで、企業の生物多様性保全活動を促進し、企業価値の向上を図ることを目的としています。府が企業に大学・試験研究機関等の専門機関を紹介し、各主体が連携して企業を支援します。



協定を締結した企業の取り組み

パナソニック株式会社エコソリューションズ社

協定者 : 府立大学*、府立環農水研*、大阪府
協定締結 : 平成 25 年 11 月
活動場所 : 本社はんえいのひろば ビオトープ (門真市)

- ・ビオトープでの希少種 (北河内地域の個体群) の保護
魚類 : カワバタモロコ (絶滅危惧Ⅰ類**)
ミナミメダカ (絶滅危惧Ⅱ類**)
植物 : ミズアオイ (絶滅危惧Ⅰ類**)
- ・社員ボランティアによる定期的なビオトープの管理や調査
- ・ホームページでの定期的な情報発信



パナホーム株式会社

協定者 : 府立大学、府立環農水研、豊中市、大阪府
協定締結 : 平成 26 年 2 月
活動場所 : 本社つながりのひろば ビオトープ (豊中市)

- ・ビオトープでの希少種 (北摂地域の個体群) の保護
魚類 : ミナミメダカ (絶滅危惧Ⅱ類**)
カワバタモロコ (絶滅危惧Ⅰ類**)
(カワバタモロコは 2014 年導入予定)
- ・ビオトープを活用した環境教育
近隣の小学校との連携や保育園児のメダカ観察など



南海電気鉄道株式会社

協定者 : 府立環農水研、岬町、大阪府
協定締結 : 平成 26 年 3 月
活動場所 : いきいきパークみさき ビオトープ (岬町)

- ・府民参加型の自然観察会
- ・定期的な保全活動
- ・ハイキングイベントでの活用など



* 府立大学 : 公立大学法人 大阪府立大学、府立環農水研 : 地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所
** 大阪府レッドリスト (2014) による

写真提供 : パナソニック株式会社エコソリューションズ社、パナホーム株式会社、南海電気鉄道株式会社

企業の皆様と取り組む大阪府等の主な生物多様性保全に関する制度

名称	URL	お問い合わせ先
<p>おおさか生物多様性パートナー協定</p> <p>参加型 生物多様性保全活動に取り組む企業を大阪府及び研究機関等が連携して支援する制度です。府が当該企業のPRや推奨を行うことで、企業の自主的な生物多様性保全活動を促し、企業価値の向上を図ります。 企業は、ビオトープなどで生きものの生息環境の創出や希少種の保護を行います。</p>	http://www.pref.osaka.lg.jp/midori/tayouseipartner/	みどり推進課 自然環境グループ TEL06-6210-9557 FAX06-6210-9551
<p>堺第7-3区 共生の森 (共生の森づくり基金含む)</p> <p>参加型 堺第7-3区は、平成16年3月まで30年間に渡り府内の産業廃棄物を受け入れ埋立てしてきた大阪府臨海部の産業廃棄物埋立処分場です。100ヘクタールの区域を企業や府民の皆様にご参加いただき「共生の森」として整備を進めています。 寄附型 また、いただいた寄附金は、年間を通じたボランティア活動の支援や府民参加による植樹や草刈のイベント実施に活用します。</p>	http://www.pref.osaka.jp/midori/midori/kyousei.html	みどり推進課 自然環境グループ TEL06-6210-9557 FAX06-6210-9551
<p>生物多様性保全基金</p> <p>寄附型 府民協働で行うビオトープの保全活動や、府民を対象とした自然観察イベントなど、府内における野生動物の生息・生育環境の保全・再生・創出や自然環境教育の推進、野生鳥獣の保護などに活用します。</p>	http://www.pref.osaka.jp/midori/midori/yaseiseibutu.html	みどり推進課 自然環境グループ TEL06-6210-9557 FAX06-6210-9551 動物愛護畜産課 野生動物グループ TEL06-6210-9619 FAX06-6613-6276
<p>アドプトフォレスト</p> <p>参加型 人工林や竹林などを手入れし、生物多様性確保や地球温暖化防止に貢献します。大阪府が、希望する企業と森林所有者の仲人となり活動場所を決めます。 活動場所となる市町村と大阪府、森林所有者、企業等の4者間で、活動内容や役割分担等を含む「4者協定」を結びます。</p>	http://www.pref.osaka.jp/midori/midori/g-10-adopt-forest.html	
<p>木のぬくもりネット(木育基金含む)</p> <p>参加型 企業や団体、市町村等と連携し、子どもの頃から木材に接することにより、木の持つ暖かさややわらかさ、香りなどの特性を生かして、子どもの育成環境の向上を目指すとともに、森林の大切さや木材に対する理解を深める「木のぬくもりネット」活動を進めています。 寄附型</p>	http://www.pref.osaka.lg.jp/midori/midori/kinonukumori.html	みどり推進課 森づくり支援グループ TEL06-6210-9556 FAX06-6210-9551
<p>生駒の森運営協議会</p> <p>参加型 地域に根ざした地元企業や、森林環境問題、森林による健康づくりに高い関心を持つ企業、教育・研究機関、行政等の多様な主体が協働して森林づくり活動に取り組むことにより、府民のみどりの象徴でもある生駒山系を豊かな森林とすることを目的としています。会員企業等の社員や教職員、学生が、間伐などの森林整備を行います。</p>	http://www.pref.osaka.jp/midori/midori/g-10-ikoman-001.html	
<p>生駒山系花屏風構想</p> <p>参加型 大阪の市街地から見渡せる生駒山系を屏風に見立てて、企業・府民の皆様とヤマザクラやモミジ等を植樹することで、山並みに四季折々の彩りを持たせると共に、放置森林問題への理解を深めることを目的としています。目標の一万本に向けて、平成25年度末までに13の企業が参加、市民参加等も合わせて全体で約6,400本の植樹を行っています。</p>	http://www.pref.osaka.lg.jp/midori/midori/g08-ikoma-001.html	みどり推進課 自然公園グループ TEL06-6210-9555 FAX06-6210-9551
<p>みどりの基金</p> <p>寄附型 街にうるおいや、やすらぎをもたらすため、緑化の推進や自然環境の保全に活用しています。</p>	http://www.pref.osaka.lg.jp/midori/kikin/	みどり推進課 緑化推進グループ TEL06-6210-9558 FAX06-6210-9551

名称	URL	お問い合わせ先
環境保全基金 寄附型	http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/kikin/	地球環境課 環境活動推進グループ TEL06-6210-9549 FAX06-6210-9551
棚田・ふるさと保全基金 寄附型	http://www.pref.osaka.jp/nosei_seibi/katudou/tanada.html	農政室整備課 計画指導グループ TEL06-6210-9600 FAX06-6210-9599
みどりの風促進区域 (みどりのネットワーク寄附金含む) 参加型 寄附型	http://www.pref.osaka.jp/kannosomu/midorinokazesokusin/	環境農林水産総務課 施策推進グループ TEL06-6210-9543 FAX06-6210-9536

名称	URL	お問い合わせ先
地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所 参加型	http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/biodiv/	大阪府立環境農林水産 総合研究所 水生生物センター TEL 072-833-2770 FAX 072-831-0229
公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会 参加型 寄附型	http://www.ogtrust.jp/	公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会 TEL 06-6614-6688 FAX 06-6614-6689
淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワーク (イタセンネット) 参加型	http://www.itsenpara.net/	イタセンネット事務局 大阪府立環境農林水産 総合研究所 水生生物センター TEL 072-833-2770 FAX 072-831-0229

各制度の詳細や参加方法についてはお問い合わせ先やホームページにてご確認ください。

(平成 26 年 3 月現在)

各ページの背景写真

表紙(裏表紙):三草山の雑木林(能勢町)、2・3ページ:淀川城北ワンド群(大阪市)、4・5ページ:里山のため池(交野市)、6・7ページ:信太山の雑木林(和泉市)、8・9:ミズアオイ、10・11:長谷の棚田(能勢町)

知る

取り組む

発信する

連携する

発行 大阪府 環境農林水産部 みどり・都市環境室 みどり推進課
〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 咲州庁舎 22F
TEL:06-6941-0351(内線 2750) FAX:06-6210-9551

編集 地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所 水生生物センター
〒572-0088 寝屋川市木屋元町 10-4
TEL:072-833-2770 FAX:072-831-0229

平成 26 年 3 月発行

この冊子は「生物多様性保全基金」により作成しました。
企画から印刷まですべてを外注して作成しております。(500部作成、作成費用493,500円)